

家畜衛生情報

韓国において豚コレラが発生しました！！

発生日：平成25年11月27日

発生農場：韓国慶尚南道泗川市 繁殖養豚場（300頭飼養）

発生頭数：豚 4頭

対応：発生農場全頭殺処分、移動制限

ワクチン接種（近隣8農場・5,870頭）

韓国における発生状況：

H20年	H21年	H22年	H23年	H24年
7件	2件	0件	0件	0件

飼養衛生管理基準の遵守について再確認していただき、万全を期するようお願い致します。

豚コレラ防疫対策のポイント

- 農場に入る際は、靴や持ち込む物の消毒を徹底しましょう。
- 外部からの人や車をなるべく農場に入れないようにしましょう。
- 畜産関係車をはじめ農場に立ち寄る車（タイヤや運転席）や持ち込む物は必ず消毒しましょう。
- 従業員の方も含めて、豚コレラが発生している国への渡航は、できる限り控えましょう。
- 豚コレラを広げないためには、早期発見がとても大切です。
毎日、必ず家畜を観察して、異状があればすぐに担当獣医師や家畜保健衛生所に連絡しましょう。

ご相談・お問い合わせは
こちらへ

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439
上田支所	0268-23-1630	松本	0263-47-3223
伊那	0265-72-2782	長野	026-226-0923
県庁園芸畜産課	026-235-7232		

茨城県で 2 例目の豚流行性下痢が発生

発生日：平成 25 年 1 月 24 日

発生農場：1,720 頭飼養 繁殖養豚場

（種豚 20 頭、母豚 200 頭、子豚 1,500 頭）

発生頭数：種豚 4 頭

母豚 34 頭

子豚 180 頭（うち 103 頭死亡）

<発生状況>

11 月 24 日 2 棟の分娩舎のうち 1 号分娩舎の母豚 1 腹の哺乳豚で
下痢を確認

夜に当該母豚の哺乳豚全頭で下痢

11 月 25 日 家畜保健衛生所に検査を依頼

家畜防疫員による立入検査を実施

1 号分娩舎母豚 9 腹の哺乳豚で下痢・衰弱

2 号分娩舎母豚 3 腹の哺乳豚で下痢

母豚には下痢・嘔吐は認められない

哺乳豚 1 頭の病性鑑定を実施

11 月 29 日 病性決定、再度家畜防疫員による立入検査を実施

哺乳豚の死亡及び 1 号分娩舎 12 腹、2 号分娩舎 7 腹、
合計 19 腹で哺乳豚の下痢を確認

その他ストール・交配舎を含め母豚（15 頭）、
種豚（4 頭）で下痢・嘔吐を確認

対 応：消毒（車両、畜舎、手指消毒）の実施

母豚へのワクチン接種実施

飼養衛生管理基準の遵守の徹底

そ の 他：茨城県 1 例目発生農場との疫学関連は認められていない
周辺農場には異常なし

本発生事例のウイルス株は先般の沖縄県、茨城県 1 例目での発生事例の株と完全に一致しないが近縁